

平成29年3月9日（木曜日）予算特別委員会①

○出席委員（15名）

2番	古	沢	清	志	委員	3番	佐	藤	耕	治	委員
4番	渡	邊	賢	一	委員	5番	伊	藤	正	彦	委員
6番	遠	藤	智	与子	委員	7番	太	田	芳	彦	委員
8番	石	山		忠	委員	9番	阿	部		清	委員
10番	沖	津	一	博	委員	11番	辻		登	代子	委員
12番	工	藤	吉	雄	委員	13番	柏	倉	信	一	委員
14番	木	村	寿	太郎	委員	15番	内	藤		明	委員
16番	杉	沼	孝	司	委員						

○欠席委員（なし）

○説明のため出席した者の職氏名

佐藤洋樹	市長	丹野敏晴	副市長
久保田洋子	病院事業管理者	菅野英行	総務課長（併） 選挙管理委員会 事務局局長
田宮信明	政策企画課長	伊藤耕平	さがえ未来創成 課長
宮川徹	財政課長	荒木信行	市民生活課長
森谷孝義	建設管理課長	阿部藤彦	健康福祉課長
土屋恒一	病院事務長		

○事務局職員出席者

月光龍弘	事務局長	山田良一	局長補佐
渡邊拓也	総務係長	兼子拓也	総務係主事

予算特別委員会議事日程第2号 第1回定例会
平成29年3月9日(木) 午前9時30分開議

再開

- 日程第1 議第3号 平成28年度寒河江市一般会計補正予算(第7号)
" 2 分科会審査の経過並びに結果報告
(1) 総務産業分科会委員長報告
(2) 厚生文教分科会委員長報告
" 3 質疑・討論・採決
閉会

本日の会議に付した事件

議事日程第2号に同じ

再開 午前9時30分

- 石山 忠委員長 おはようございます。
ただいまから、予算特別委員会を再開いたします。
出席委員は定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

議案上程

- 石山 忠委員長 日程第1、議第3号平成28年度寒河江市一般会計補正予算(第7号)を議題といたします。

分科会審査の経過並びに結果報告

- 石山 忠委員長 日程第2、分科会審査の経過並びに結果報告であります。

総務産業分科会委員長報告

- 石山 忠委員長 初めに、総務産業分科会委員長報告を求めます。太田総務産業分科会委員長。
〔太田芳彦総務産業分科会委員長 登壇〕

- 太田芳彦総務産業分科会委員長 おはようございます。

総務産業分科会における審査の経過と結果について御報告申し上げます。

本分科会は3月7日、委員全員出席し開会いたしました。

分担付託されました案件は、議第3号第1表中歳入全部、歳出第2款、歳出第8款及び歳出第9款並びに第2表、第3表及び第4表であります。

順を追って審査の内容を申し上げます。

初めに、議第3号平成28年度寒河江市一般会計補正予算(第7号)第1表中歳入全部を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「16款の寄附金で6億5,000万円とあるが、どんな見積もりなのかお聞きしたい」

との問いがあり、当局より「29年度産のはえぬきの好評によるふるさと納税の寄附金の収入増を見込んだものです」との答弁がありました。

委員より「寄附金関係で、はえぬきの返礼品が好調と聞いて安心しました。格付ランクが下がったことで心配したが、見通しについてお聞きしたい」との問いがあり、当局より「先日特Aから格下げになったばかりでありますので、何らかの影響が出るのではないかとはいっていますが、見通しはまだ見えていないのが現状です」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とするべきものと決しました。

次に、第1表中歳出第2款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とするべきものと決しました。

次に、第1表中歳出第8款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「土木費の公園整備事業で、グリバーさがえの整備とありましたが、詳細をお聞きしたい」との問いがあり、当局より「建物としては木造平屋建てで16坪程度の計画です。設備等は、エアコン、洗面・シャワーユニット、コインロッカー、ベンチなどを計画しています」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とするべきものと決しました。

次に、第1表中歳出第9款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とするべきものと決しました。

次に、第2表を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「土木費の山西米沢線のことですが、国からの交付金が減っており、工事もおくれて

いる経緯がありますが、ことしは大丈夫なのかお聞きしたい」との問いがあり、当局より「交付金については、これまでのものより内示率のよい交通安全対策的なものに組みかえたり、最終年度の年度終了宣言をさせていただいたりして申請等を行っている関係から、これまでより多くいただけるのではとの考えで進んでいるところあります」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とするべきものと決しました。

次に、第3表を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とするべきものと決しました。

次に、第4表を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とするべきものと決しました。

以上で、総務産業分科会における審査の経過と結果について御報告を終わります。

厚生文教分科会委員長報告

○石山 忠委員長 次に、厚生文教分科会委員長報告を求めます。厚生文教分科会委員長。伊藤副委員長。

〔伊藤正彦厚生文教分科会副委員長 登壇〕

○伊藤正彦厚生文教分科会副委員長 厚生文教分科会委員長、声が出ませんので、かわりまして副委員長の私から御報告させていただきます。厚生文教分科会における審査の経過と結果について御報告申し上げます。

本分科会は3月7日、委員全員出席し開会いたしました。

分担付託されました案件は、議第3号第1表中歳出第3款及び歳出第4款であります。

順を追って審査の内容を申し上げます。

初めに、議第3号平成28年度寒河江市一般会

計補正予算（第7号）第1表中歳出第3款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「生活保護扶助事業について、対象者の人数はどれだけふえたのか」との問いがあり、当局より「当初予算においては82世帯100人を見込んでいましたが、現在は84世帯107人となっております」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とすべきものと決しました。

次に、第1表歳出第4款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、全会一致をもって原案を了とすべきものと決しました。

以上で、厚生文教分科会における審査の経過と結果について御報告を終わります。

質疑・討論・採決

○石山 忠委員長 日程第3、質疑・討論・採決であります。

初めに、総務産業分科会委員長報告に対する質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

次に、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これにて質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論を終結いたします。

これより議第3号平成28年度寒河江市一般会計補正予算（第7号）を採決いたします。

本案に対する各分科会委員長報告は、いずれも原案を了とするものであります。

本案は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。

よって、議第3号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

閉 会 午前9時39分

○石山 忠委員長 以上をもって予算特別委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上会議の結果を記載し、相違ないことを証するために署名する。

予算特別委員会委員長 石 山 忠